



# ハートチームで全力で支援します!

TAVI 治療は循環器内科医師、心臓血管外科医師、麻酔科医師だけでなく多くの職種が協議し治療にあたります。カテーテル治療専門看護師、外科手術専門看護師、集中治療室専門看護師、心不全専門看護師など、多くのタイプの看護師がそれぞれの専門性を生かし、患者さんに寄り添います。

治療に痛みが少ない一方で多くの情報量が必要のため心エコー検査は複数回受けていただきますが、生理検査技師が担当しています。TAVI 治療中の経食道エコー検査も支援しています。

TAVI 治療は治療前の CT 検査が必須で放射線技師が担当します。治療中の透視装置の制御も行い安全な治療の援助をします。

退院まで多くの先進機器が関わる治療ですので臨床工学技士の協力も欠かせません。当院 TAVI 治療中は清潔野で臨床工学技士に参加してもらい、円滑な治療を行っています。

『治療前より元気に歩いて退院する』ことを目標に、理学療法士が積極的にリハビリを行います。

医療クラークと呼ばれる医療事務作業補助者による補助があるおかげで、円滑な検査・治療にこぎつけることができます。『～忘れ』といったミスも減り、欠かせない戦力となっています。

普段の飲み薬、TAVI によって増える薬減る薬の管理など、心不全専門の薬剤師による安全管理を行っています。

かかりつけの先生との懸け橋をするのは地域連携室とよばれる部署のソーシャルワーカーになります。治療に関わる社会資源の介入などの提案も行います。

他にも様々な職種が関わりますので、多くの情報の統括が必要です。当院は専任者（コーディネーター）を置き良好な連携を行っております。

当院で治療を受けてよかったと思っていただけるよう、治療の成功と元気な退院をチームでサポートします。

【文責 萩倉新】



心臓血管外科 主任部長

**田内 祐也**

ツカザキ病院心臓血管外科は心臓血管外科専門医3名を含めた5名のメンバーにて診療をさせていただいております。心臓、大血管といった手術や、末梢血管手術、静脈瘤手術、透析シャント作成などあらゆる成人心臓血管手術に対応しており、24時間365日緊急患者様の受け入れも行ってまいります。また、重症患者さんの治療や術後管理を行うエキスパートでもあります。私たちに与えられたミッションは患者さんに満足のいただける手術を行うことに尽きると思っています。そのためには、確実に妥協のない手術を、合併症を起こすことなく、可能な限り低侵襲で行うことが必要であろうと考えております。その目的に向かって日々努力し、レベルアップを続けていきたいと考えています。

さて、ツカザキ病院では2022年春より大動脈弁狭窄症に対する新しい治療法である経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI：Transcatheter Aortic Valve Implantation）が施行可能となりました。大動脈弁狭窄症に対する治療は従来、開胸・人工心肺使用・心停止下の弁置換術が必要でした。そのため超高齢の患者さんや併存疾患により開胸手術が困難な患者さんには躊躇せざるを得ない治療でありました。しかしTAVIは開胸や人工心肺使用が必要なく、今まで手術が困難と思われていた患者さんにも治療が可能となります。

TAVIを行うにあたり、ハートチームの存在が必要不可欠となります。ハートチームとは、循環器内科医・心臓血管外科医・麻酔科医といった医師や看護師のみでなく、患者さんがツカザキ病院を受診し、治療を受け、退院していくまでの間に関わるすべての職種を含んだチームのことです。いずれのメンバーも患者さんが元気に笑顔で退院していくために欠かすことのできないピースとなります。そのハートチームでそれぞれの患者さんに最適な治療方針を議論しています。また、治療・手術自体も多数のハートチームメンバーによって協力しながら行います。私たち心臓血管外科医もハートチームの一員として、患者さんに安全な治療を受けて頂くために、術前から手術・術後まで最大限の協力を行っています。

ツカザキ病院ではハートチームのチームワークが非常によく、TAVIだけではなく、多くの患者さんに関してチーム内で治療方針を検討し、協力し合うことで、患者さんごとにオーダーメイドで治療を提供することができていると実感しています。チームとして日々邁進しており、すべてのメンバーが同じ目標を持って頑張っておりますので、心疾患でお困りの患者さんや心疾患が疑われ心配な患者さんはお気軽ににご相談いただければと思います。また、近隣の先生方にはお気軽にご紹介頂きご指導頂ければと考えております。



循環器内科 部長

**萩倉 新**

カテーテル弁膜症治療の責任者、またカテーテルによる低侵襲治療の窓口をさせていただいております萩倉と申します。

我々循環器内科は、心臓血管の内科です。心筋梗塞や狭心症といった冠動脈カテーテル治療のエキスパートである楠山医師を中心とし、脚をはじめ全身を巡る血管の治療とその病気が引き起こすクズの治療を専門とする河野医師と共に、『心筋梗塞・狭心症など冠動脈疾患』『脚の血管など末梢血管疾患』『弁膜症など構造的な心疾患』3分野それぞれ当院で高度専門的治療を受けていただけるように専門性を高めています。

2022年7月現在で常勤循環器内科は6名おります。カテーテル治療専門医（日本心血管インターベンション治療学会認定専門医）2名、認定医1名擁しており、細い管（カテーテル）を用い体へ負担の少ない治療・専門性の高い治療を受けていただけるよう取り組んでいます。

我々循環器内科は、カテーテルだけでなくエコー検査・CTやレントゲン検査・先進医療機器の操作管理・飲み薬・リハビリ・看護指導・栄養指導・かかりつけ先生方との連携、また検査治療日程の調整やダブルチェックなど（医療事務作業補助）まで含めて『心臓血管の病気』に立ち向かう『武器』と考えていますし、皆さんが受けられるカテーテル弁膜症治療にはいずれも欠かせない要素です。治療に非常の多くの医療従事者が関わっているな、と驚かれると思います。安心して治療をうけていただけるように全員で取り組んでいます。

体の中でも重要な部分を扱う治療となります。低い可能性ながら治療中に思った通りの治療とならないことがあります。そんなときも培ってきた知識とカテーテル治療の経験、そして外科の先生方のバックアップも得ながら、安心して治療を受けていただけるように努力改善を続けていきます。